

# 葛飾区中央図書館にインドネシアの絵本を寄付しました。

経済連携協定 (Economic Partnership Agreement) で、2008年に来日し、2012年に介護福祉士の国家資格を取得したインドネシアの方々が、葛飾区内の高齢者施設で介護福祉士として勤務しています。

みなさんは、葛飾区民で、子育て真っ最中の方々がほとんどです。  
そして、近所の図書館でお子さんのために絵本などを活用しているとのこと。  
寄付されたインドネシア語の絵本が、お子さんの成長や国際理解のきっかけになることを願っています。





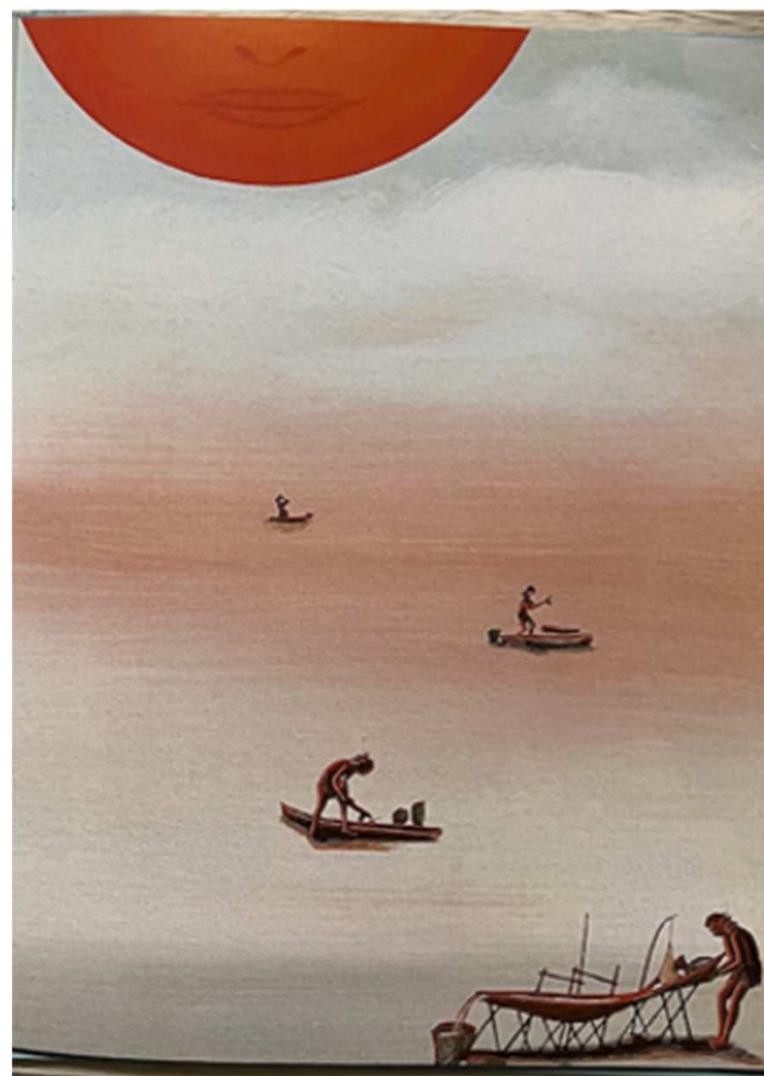
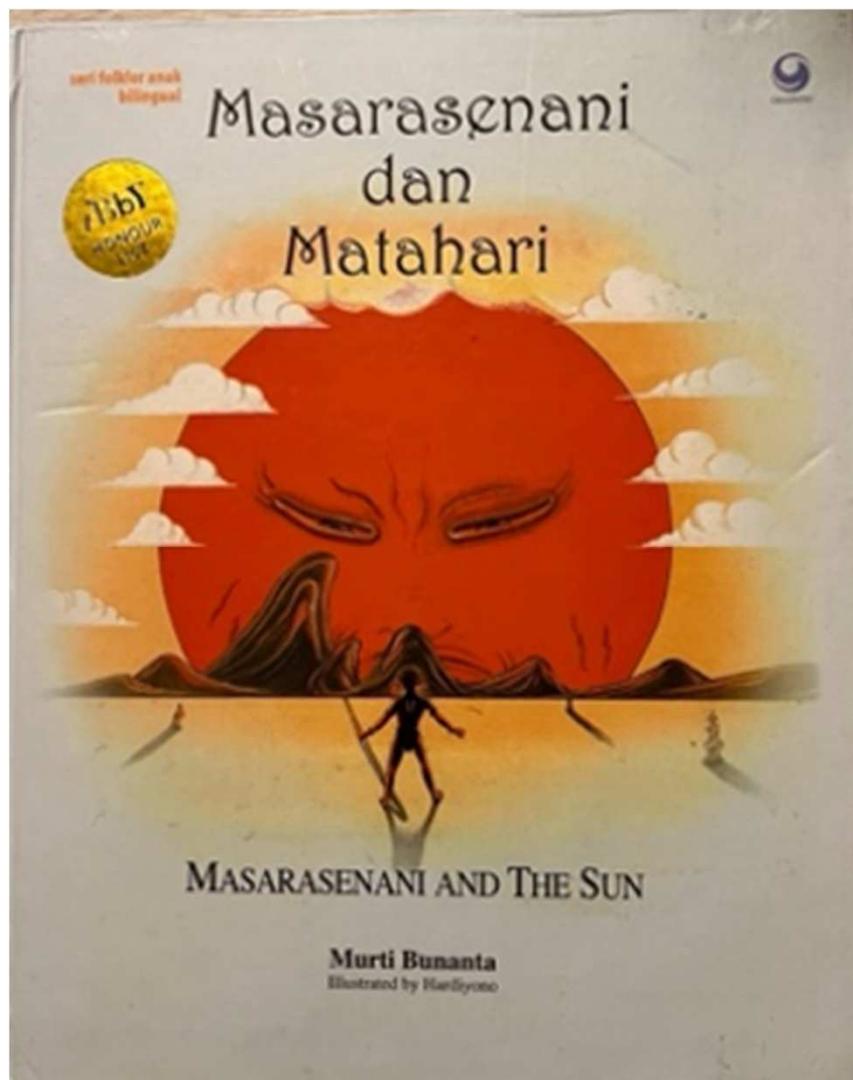
2025年2月17日  
インドネシアの絵本を約40冊贈呈いたしました。  
長年図書館支援活動をしている、かわごえ区議会議員にサポートしていただきました。



インドネシアの絵本事情、葛飾区内在住のインドネシアの方々が、お子さんのために図書館を利用していることなど、葛飾区中央図書館々長さん、図書館司書さんと情報交換をしました。

「いろんなことばのおはなし会」(2025年3月9日)  
会場に展示されたインドネシアの絵本。とてもカラフルです。





## マサラスナニと太陽

おかし、おかし、太陽は今よりとても短い時間しか照っていなかった、とか・・・  
(パプア地方の民話)

## この日は、英語、中国語、インドネシア語の絵本が読まれました



この日に読まれた絵本は「マサラスナニと太陽」です。日本語は「こども支援チエルク」の藤野さん、インドネシア語は、介護福祉士のアスリさんが読みました。

アスリさんは、2008年にインドネシアからやってきたEPAプログラム第一号です。インドネシアでは看護師でした。日本で介護福祉士の国家資格を取得し、現在、葛飾区内の介護施設で勤務中。他のインドネシアの介護福祉士の仲間と助け合いながら、仕事に子育てに奮闘中です！



同じ絵本なのですが、英語の題名は「The Happy day」で、日本語翻訳は「はなをくんくん」です。楽しいお話で会場から笑い声が湧きました。



Asriさんのご家族と関係者との集合写真  
(ご主人は撮影者です)



中国、英語、インドネシア語、それぞれ長いお話してましたが、子どもも大人もお話に引き込まれていきました。素晴らしい時間でした。

文化や価値観が異なる場面に出会わなければ、私たちは狭い視野のままに過ごしていくのでしょうか…。地球市民として、お互いに違いを理解していけると感じられる、素晴らしいイベントでした。